

MSM 及びゲイ・バイセクシュアル男性を対象とした地域間比較 (1)
- MSM における検査・予防行動、地域間移動に伴う性行動 -

研究分担者：金子典代(名古屋市立大学看護学部 准教授)

本間隆之(山梨県立看護大学 講師)

研究協力者：塩野徳史(名古屋市立大学看護学部)、太田貴(やろっこ)、岩橋恒太(特定非営利活動法人 akta)、荒木順子(特定非営利活動法人 akta/公益財団法人エイズ予防財団)、石田敏彦(ALN)、町登志雄(MASH 大阪/公益財団法人エイズ予防財団)、後藤大輔(MASH 大阪)、新山賢(HaaT えひめ)、牧園祐也(Love Act Fukuoka/公益財団法人エイズ予防財団)、金城健(nankr 沖縄/公益財団法人エイズ予防財団)

研究要旨

本研究の目的は、東北、東京、名古屋、大阪、中四国、沖縄のゲイコミュニティ内で開催されるゲイ向けイベントに参加した MSM における検査・予防行動、各地域のコミュニティベースの予防介入の認知を明らかにすること、外国籍 MSM との性行為の実態、日本国内での地域間移動と移動に伴う性行動規範を明らかにすることである。地域間移動については、国内での自身の居住地以外の都市への移動経験と移動先での商業施設利用、性行動、旅行と性行動に関する規範に焦点を当てた分析を行った。重複回答を除く 869 名のデータについて年齢群別に分析を行った結果、25歳未満群で過去6か月のコンドーム使用、HIV 検査経験が他の年齢層より低いことが示された。また過去6か月に男性と性行為経験のある 581 名のうち、108 名(19%)に外国籍 MSM との性行為経験があり、そのうち 83 名(76.9%)は日本国内で性行為を行っていた。対象者のリクルート起点となった地域の居住者のみ 699 名を対象にし、東北、東京都、東海、大阪、中四国、沖縄の各地域別にコンドーム使用行動、検査行動、予防啓発の認知評価を年齢別に分析した結果、若い年齢層でのコンドーム使用の低さ、HIV 検査の受検経験割合の低さが示唆された。

A. 研究目的

本研究の目的は、東北、東京、名古屋、大阪、中四国、沖縄のゲイコミュニティ内で開催されるゲイ向けイベントに参加した MSM における検査・予防行動を明らかにし各地域で行っている予防介入の評価を行うこと、地域間移動に伴う性行動を明らかにすることである。地域間移動については、国内での他都市への移動経験と性行動、海外の MSM との交流機会に焦点を当てた。

B. 研究方法

本研究班が開発した GCQ アンケートシステムを用いてインターネットサイト上に本調査専用のサイトを開設した。本研究班の介入地域である東北、関東、東海、近畿、中四国、九州、沖縄県に居住するゲイ・バイセクシュアル男性を対象者としてインターネットによる横断調査を実施した。総計 9 イベントと協働し、各イベント固有の調査サイトを総計 9 件開設し実施した。対象者のリクルートでは、ゲイ向けクラブイベントのオーガナイザーと

協力し、広報資材やインターネットサイトに本調査の回答協力依頼の広告を掲載した。イベント実施前から広報を開始し、イベント開始前の調査への回答を依頼した。対象者は、調査回答終了画面をイベント入場時に受付に提示することで受ける入場料割引を本調査の謝礼とした。質問項目は基本属性、資材認知、HIV 検査受検、過去 6 か月の外国籍 MSM との性行動経験、ツーリズムに関する意識、国内での仙台市、東京都、名古屋市、大阪市、岡山市、福岡市、那覇市への移動/旅行経験と移動/旅行先での性行動等、総計 85 問であった。2015 年度の横断調査の実施期間は 6 月 18 日 -11 月 14 日までの約 5 ヶ月間であった。

(倫理面への配慮)

本研究の研究計画については、名古屋市立大学看護学部倫理委員会より実施の承認を得て実施した。

C. 研究結果

調査期間中の総計の有効回答数は 1101 件であり、沖縄イベントでは 269 件、大阪の 2 イベントでは 174 件、中四国クラブイベント 2 件で 292 件、東北イベントでは 48 件、名古屋の 2 イベントでは 195 件、東京イベントでは 123 件の回答を得た。回答者には本研究で協働した 9 イベントのうち複数イベントに参加し、複数の調査に回答しているものがあること、また本研究班と NGO が予防啓発を行って

いる地点以外の回答者も含まれていた (図 1)。ツーリズムが盛んな沖縄地域では回答者の過半数が近畿地方や関東地域居住の沖縄以外の居住者であった。

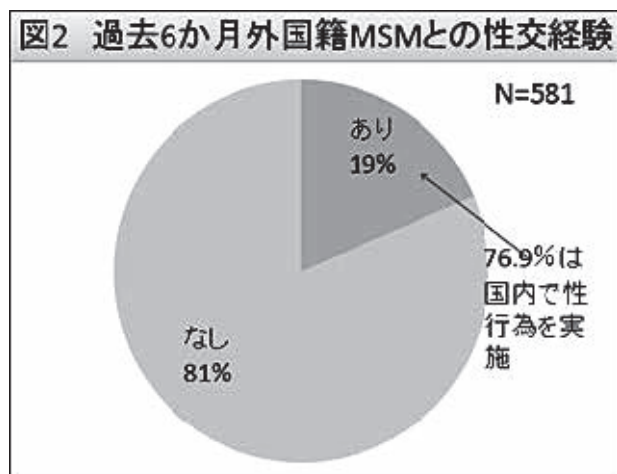
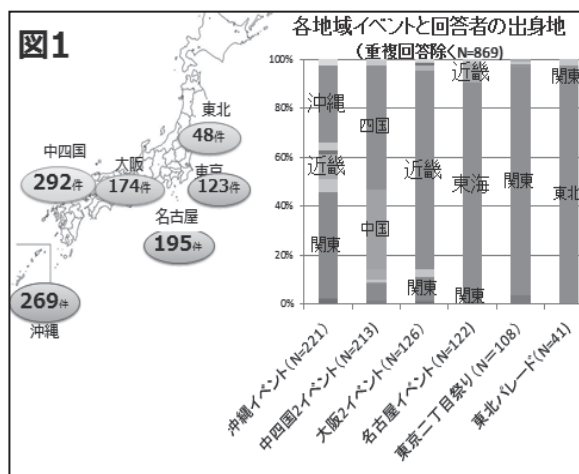
1) 分析 1 重複回答を除いた分析 (N=869)

回答者のうち、重複回答を除く全国の回答者 869 名について、25 歳未満群、25 歳から 35 歳未満群、35 歳以上の 3 つの年齢別に分析を行った結果を以下に示す。なお基礎集計表は巻末表 1 に示した。

基礎属性については、性指向は、25 歳未満群は他の群と比べて「バイセクシュアル」である者の割合が 25%と高かった (表 1-1)。過去 6 か月の商業施設の利用はゲイバーはいずれの年齢層でも高く 6 割を超しており、ゲイナイトの利用は 25 歳以上の方が 25 歳未満の群よりも高く、差が見られた。どの年齢層でも過去 6 か月に恋人、彼氏、友達とエイズに関する対話をしたものの割合は半数を超えていた。(表 1-1)。

生涯に男性とアナルセックスの経験があるものの割合は 91%であった。最近の性行為でのコンドーム使用は、25 歳未満群が 66%と他の年齢群より低かった。過去 6 か月のアナルセックス時のコンドームの常用割合は、25 歳未満群で 40%、25-35 歳未満群で 44%、35 歳以上群で 50%であり、有意差はないものの、年齢が低いほど常用割合は低かった (表 1-1)

過去 6 か月に男性と性行為経験がある 581



名のうち、19%が外国籍 MSM との性行為経験を有していた(図 2)。またそのうち 76.9%は日本国内で性行為を行っていた。

過去 6 か月の性交時の併用品については、ぼつき薬(バイアグラ)などの使用が全体で 8%、35 歳以上では 12%の使用割合であった。

生涯での HIV 検査の受検経験は、全体では 69%が経験を有しており、25 歳未満群が 50%と最も低かった。(表 1-2)

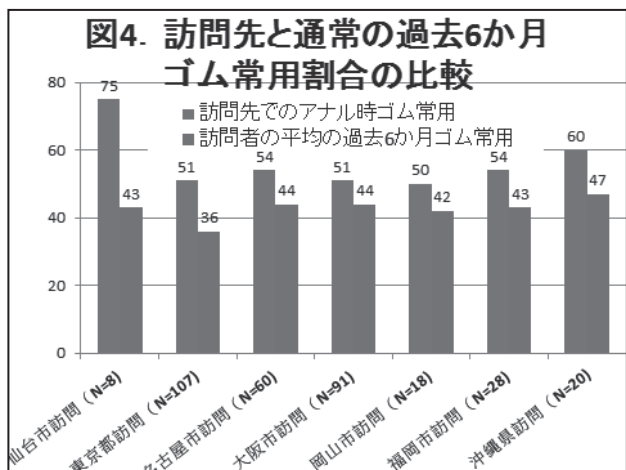
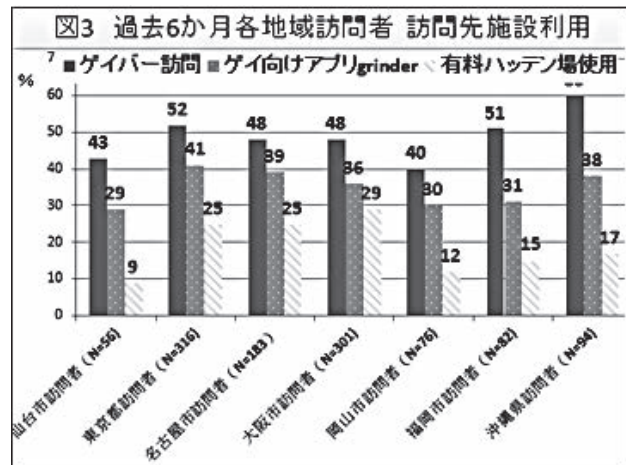
過去 6 か月に居住地以外の 7 都市(仙台市、東京都、名古屋市、大阪市、岡山市、福岡市、沖縄県)のうち 2 都市以上訪問したものは全体の 36%であった。また旅行と性行動の規範についても 5 段階評定で尋ね、年齢との関連をみた。その結果、旅行時に旅先の人との出会いたい希望、旅行先での薬物携行希望、旅行先でのハッテン場使用の希望、旅先のゲイ向け商業施設の情報入手希望については年齢群との関連が見られ、いずれも年齢が高いものの方が同意割合が高かった。年齢との有意差は見られなかったが、旅先での HIV 検査の利用しやすさに同意したものは、全体の 32%であった(表 1-3)。

過去 6 か月に“自分の居住地以外に”旅行や出張、旅行、イベント参加等で仙台市、東京都、名古屋市、大阪市、岡山市、福岡市、沖縄県に移動した経験をそれぞれ尋ねた。各地域の居住者別に、に東北、東海地域の居住者の半数以上は過去 6 か月の東京への移動経験を有しており中国、四国地域の者の 50%以上が大阪市への訪問経験を有していた。

また各地域の訪問者の訪問先での商業施設(ゲイバー、クラブイベント、ハッテン場等)利用を尋ねたところ、いずれの地域への訪問者でもゲイバーを利用しているものが最も多く、東京都訪問者では 52%が、沖縄県訪問者では 60%がゲイバーを使用していた(図 3)。

また過去 6 か月に居住地以外を訪れた対象者について、過去 6 か月に訪問した都市別に対象者の群分けを行い、性行動・予防行動の

分析を行った。その結果、訪問先によって異なるが、14-34%の者が訪問先でアナルセックスを経験していた。また訪問先でのアナルセックス時のコンドームの常用割合は 50-75%であり、いずれの訪問先訪問者群においても、過去 6 か月の(訪問先に限定しない居住地での性行為も含む)コンドーム常用割合より高かった(図 4)。

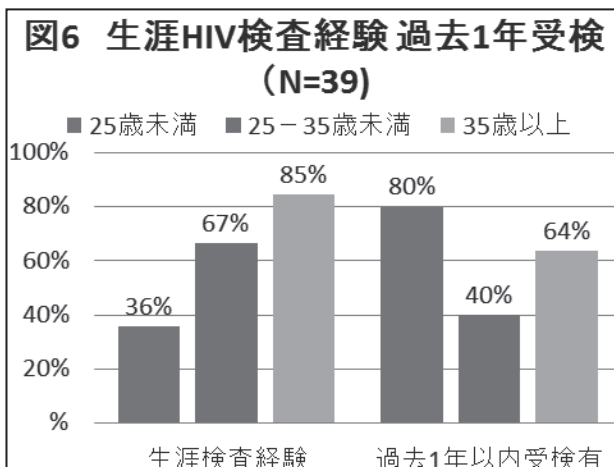
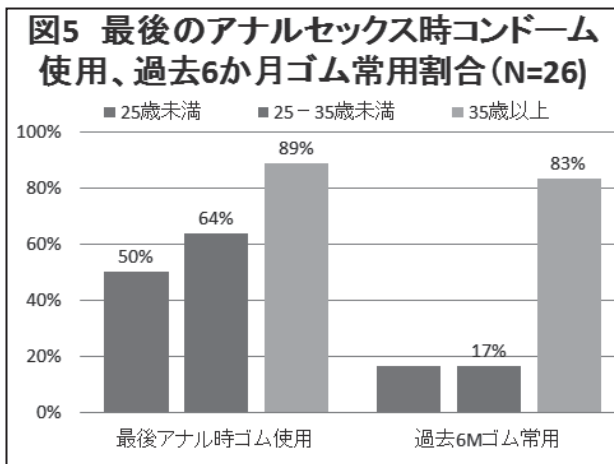


2) 分析 2 (リクルート地点居住者に限定)

以下は、リクルート起点となったイベント開催地域の居住者のみ N=699 を対象とし、地域別にコンドーム使用行動、検査行動、予防啓発の認知を年齢別に分析した。

①東北地域 (N=39)

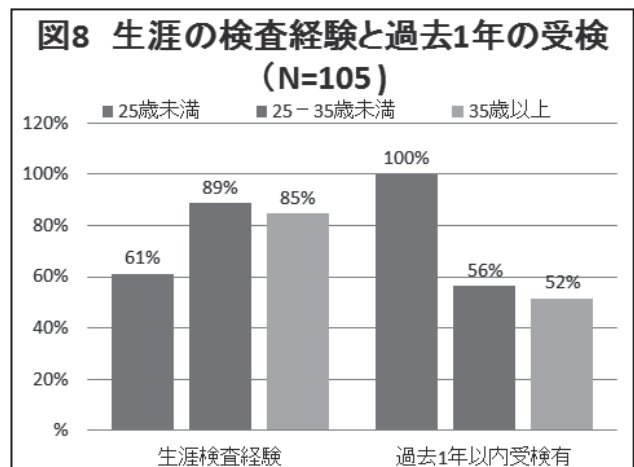
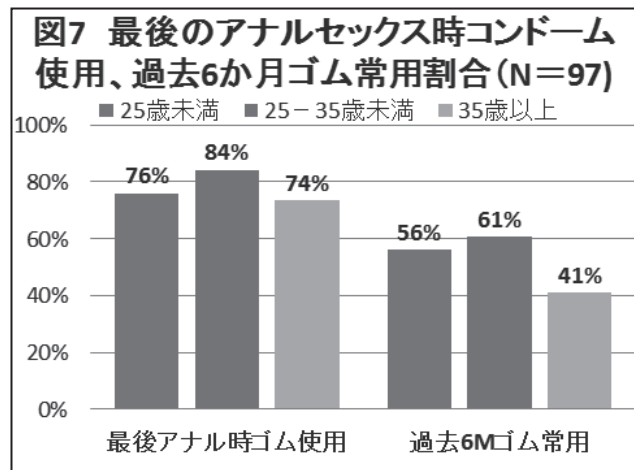
仙台市内で実施したセクシュアルマイノリティ対象のイベントでリクルートを行った。過去6か月のコンドーム常用割合は35歳以上で最も高く、35歳以下では10%台と低かった(図5)。生涯でHIV検査経験を有する者の割合は、25歳未満では36%、25-35歳群では67%、35歳以上では85%と年齢層が上がるほど高かった(図6)。



コミュニティペーパーの認知は、25歳未満で79%、25-35歳未満群で67%、35歳以上群で100%であった。コミュニティセンターの認知は、25歳未満で93%、25-35歳未満群、35歳以上群で100%であった。コミュニティペーパー、コミュニティセンターの認知は全年齢群で高く、京で実施しているセーフターセックスキャンペーンの認知も35歳以上の群では62%と高値であった(表2-1)。

②関東地域 (N=105)

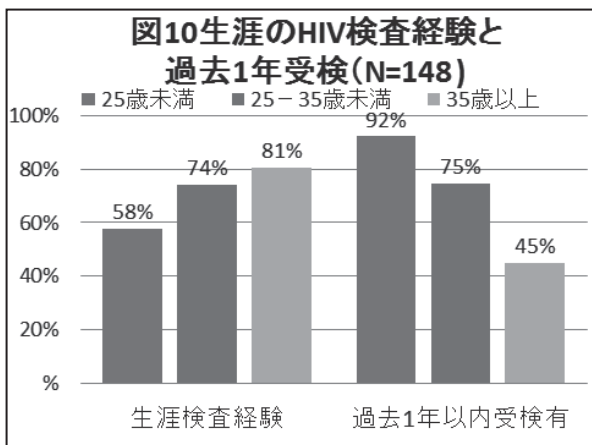
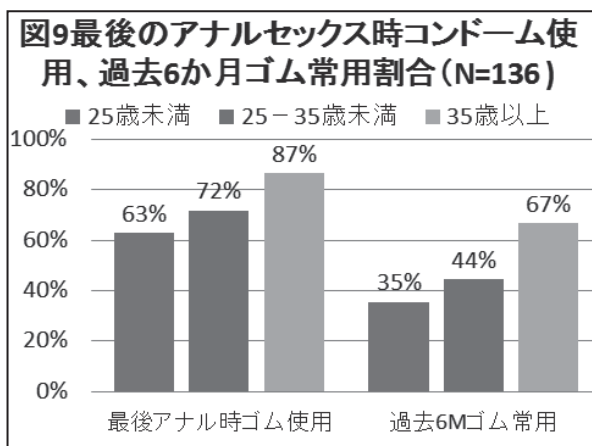
8月に開催された新宿2丁目内のイベントで対象者リクルートを行った。過去6か月のコンドーム常用割合は、25歳未満では56%、25-35歳未満群では61%、35歳以上では41%であった(図7)。生涯のHIV検査受検経験は、25歳未満が最も低く61%であった(図8)。



コミュニティペーパーマンスリーaktaの認知は、25歳未満で39%、25-35歳未満群で41%、35歳以上群で56%であった。39%-56%であり、コミュニティセンターの認知は、25歳未満で68%、25-35歳未満群で64%、35歳以上群で82%であった。セーフターセックスキャンペーンの認知は25歳未満で45%、25-35歳未満で39%、35歳以上で44%であった(表2-2)。

③東海地域 (N=148)

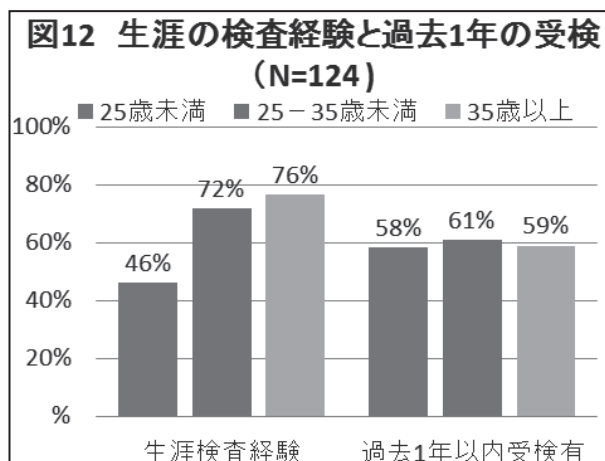
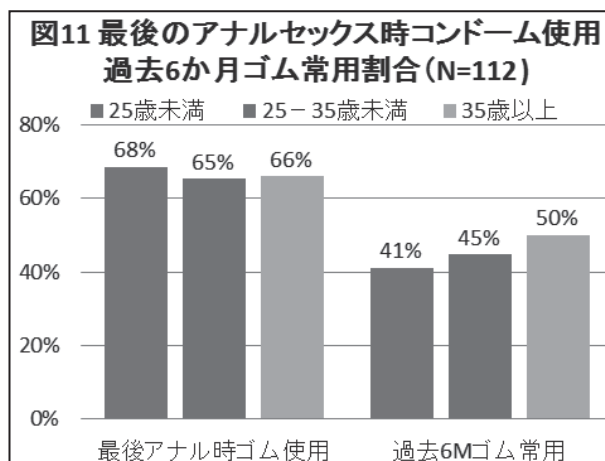
8月に実施したクラブイベント、riseで実施しているプログラム参加者に対して対象者リクルートを行った。過去6か月のコンドーム常用割合は、25歳未満では35%、25-35歳未満群では44%、35歳以上では67%であった(図9)。生涯のHIV検査受検経験は25歳未満では58%、25-35歳未満群では74%、35歳以上では81%であり、年齢が高いほど高かった(図10)。



コミュニティペーパーの認知は、25歳未満で27%、25-35歳未満群で22%、35歳以上群で42%であった。コミュニティセンターの認知は25歳未満で69%、25-35歳未満群で60%、35歳以上群で72%であった。またやるプロの認知は、18-25%で推移していた(表2-3)。

④関西地域 (N=124)

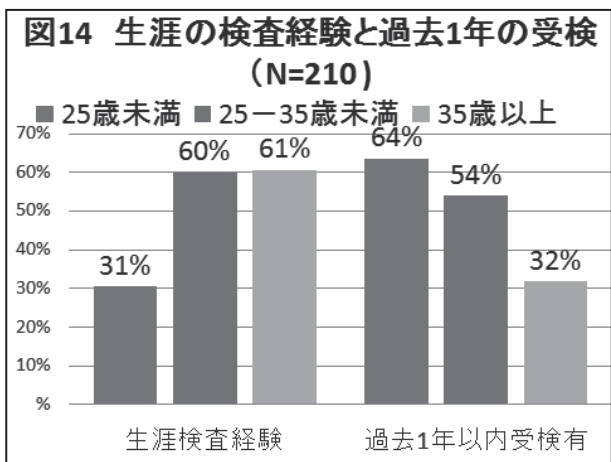
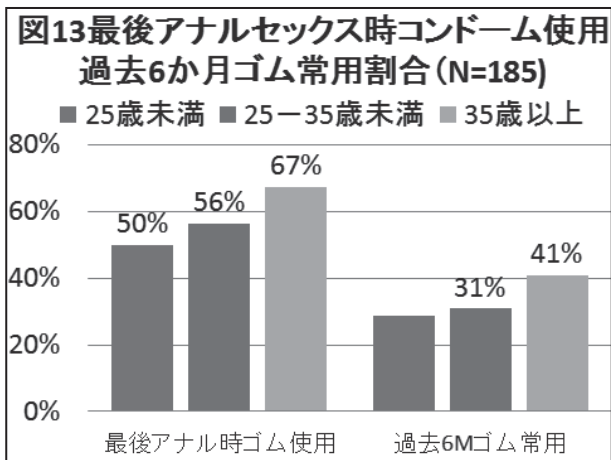
大阪市内で実施したクラブイベントにて対象者のリクルートを行った。過去6か月のコンドーム常用割合は25歳未満では35%、25-35歳未満群では45%、35歳以上では50%であり、年齢層が低いほど低かった(図11)。生涯でのHIV検査受検経験は、25歳未満では46%、25-35歳未満群では72%、35歳以上では76%であり、年齢が若いほど低かった(図12)。



南界堂通信の認知は、25歳未満で8%、25-35歳未満群で23%、35歳以上群で22%であった。コミュニティセンターの認知は、25歳未満で46%、25-35歳未満群で69%、35歳以上群で73%であった。やるプロの認知は37%-62%であり、若い年齢層での認知が高かった(表2-4)。

⑤中四国地域 (N=210)

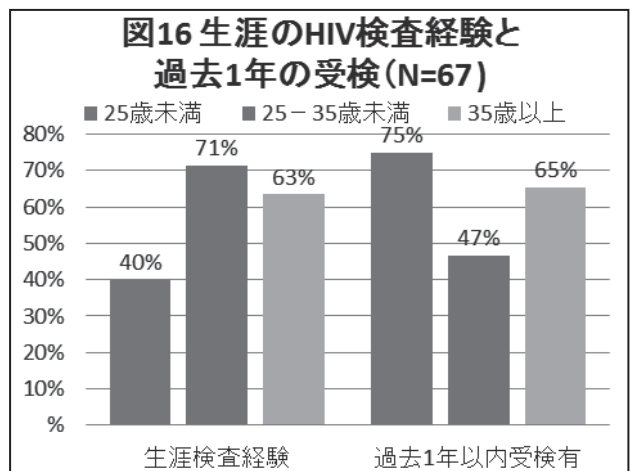
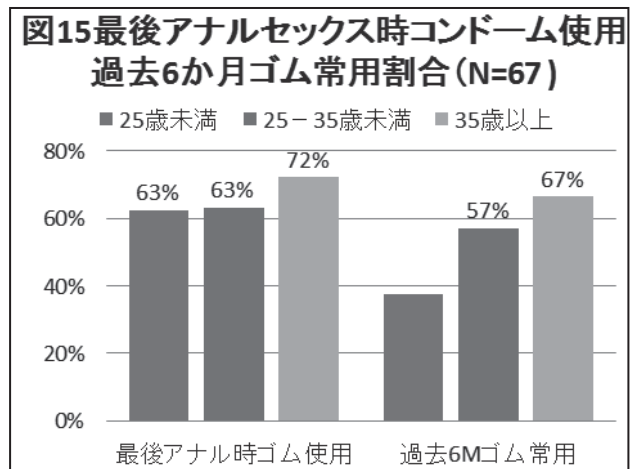
広島、岡山市で実施したクラブイベントで対象者のリクルートを行った。過去6か月のコンドーム常用割合は、25歳未満では35%、25-35歳未満群では31%、35歳以上では41%であり、年齢層が低いほど低かった(図13)。生涯でのHIV検査受検経験は、25歳未満で31%、25-35歳未満群は60%、35歳以上では61%であった。25歳未満の層が最も割合が低かった。



HaaT えひめが発行するコミュニティペーパーの認知は、25歳未満で25%、25-35歳未満群で53%、35歳以上群で39%であった。やるプロの認知は28-47%であった(表2-5)。

⑥沖縄地域 (N=73)

沖縄県、那覇市で実施したクラブイベントで対象者のリクルートを行った。過去6か月のコンドーム常用割合は、38-67%であり、25歳未満が最も低かった。生涯でのHIV検査受検経験は、25歳未満で40%、25-35歳未満群は71%、35歳以上では63%であった。



nankrが発行するコミュニティペーパーの認知は、25歳未満で50%、25-35歳未満群で64%、35歳以上群で65%であった。コミュニティセンターmabuiの認知は、25歳未満で80%、25-35歳未満群で83%、35歳以上群で78%であった。やるプロの認知は7.3-50.0%であった(表2-6)。

D. 考察

クラブイベント、ゲイコミュニティ内でのイベントに会場する MSM を対象に調査を実施し、全国から有効回答を得ることができた。各地域の検査、コンドーム使用の実態、NGO 資料の認知も評価し、今後の介入のあり方を検討する資料としたい。国内移動の実態、移動先での性行動、外国籍 MSM との性行動経験についてもデータを得ることができた。

東北、関東、東海、関西、中四国、沖縄地域での主にクラブイベント参加者の予防行動やコミュニティセンター、資料の認知、国内移動と移動先での性行動についての実態評価に資するデータを得ることができたことは評価に資すると考える。特に国内移動が容易になっていること、特に都市部のゲイタウンへの海外からの来訪者が増えていることを踏まえても外国籍 MSM との性行動の実態評価に資するデータを得たことは価値が高いと考える

仙台市、東京都、名古屋市、大阪市、岡山市、福岡市、沖縄県への移動経験、移動先での商業施設利用、性行動についてそれぞれ尋ねたため質問項目が多く、煩雑であり、回答に時間を要したとの声も多く聞かれた。今後、国内移動経験について尋ねる際は、より回答しやすい調査項目とするなど工夫する必要がある。

E. 結論

今年度は各地域のクラブイベント等と連動しコミュニティイベントに参加する MSM の予防行動、介入への接触、国内移動と移動先での性行動を明らかにする試みを実施できた。予防行動の実態については、年齢群別にみると生涯の HIV 検査受験経験、過去 6 か月のアナルセックス時のコンドーム常用割合が 20-29 歳群の方が 30 歳以上群より低く、若者層への介入の強化の必要性が示された。

また過去 6 か月に外国籍の方との性行動があるもの 17% おり、外国籍の者との性交渉の機会が日本国内でもあることが示され、予防

メッセージの出し方についても検討の必要性があることが示唆された。

過去 6 か月間と時間軸を限定しても多くの MSM が国内の居住地以外の都市への移動機会を有しており、移動先でのゲイバー使用割合が高いこと、東京都、大阪市への過去 6 か月移動経験者のうち 3 割を超えるものが移動先でアナルセックスを実施していることが示され、移動も考慮に入れた予防介入の実施、啓発の必要性が示唆された。

F. 発表論文等

1. 論文

- 1) Nigel Sherriff, Jane Koerner, Noriyo Kaneko, Satoshi Shiono, Michiko Takaku, Ross Boseley, Seiichi Ichikawa : Everywhere in Japan: an international approach to working with commercial gay businesses in HIV prevention, Health Promotion International, 2015 Nov doi: 10.1093/heapro/dav096
- 2) 金子典代：第 15 回日本エイズ学会 ECC 山口メモリアルエイズ研究奨励賞受賞研究 MSM を対象とするコミュニティベースでの HIV 感染予防活動の評価研究の推進, 日本エイズ学会誌, 17 (2), 82-86, 2015.
- 3) 高久道子, 市川誠一, 金子典代: 愛知県に在住するスペイン語圏の南米地域出身者におけるスペイン語対応の医療機関に関する情報行動と関連する要因, 日本公衆衛生学会誌, 62(11), 684-693, 2015.

2. 学会発表 (国内)

- 1) 木南拓也, 岩橋恒太, 荒木順子, 佐久間久弘, 大島岳, 金子典代, 本間隆之, 市川誠一: コミュニティセンター akta を基点とするアウトリーチ活動の効果評価—アウトリーチ実施店舗と未実施店舗の比較—, 第 29 回日本エイズ学会学術集会・総会, 東京都, 2015.

- 2) 本間隆之, 岩橋恒太, 木南拓也, 荒木順子, 佐久間久弘, 大島岳, 金子典代, 市川誠一 : コミュニティを基盤とした組織 (CBO) の受け入れとコミュニティ感覚—akta を基点とするアウトリーチの評価—, 第 29 回日本エイズ学会学術集会・総会, 東京都, 2015.
- 3) 塩野徳史, 後藤大輔, 町登志雄, 宮田りりい, 伴仲昭彦, 鬼塚哲郎, 金子典代, 市川誠一 : 近畿地域在住の MSM における初交時の予防行動に関連した要因—10 年間の変化—, 第 29 回日本エイズ学会学術集会・総会, 東京都, 2015.
- 4) 佐々木由理, 市川誠一, 塩野徳史, 金子典代, 萬田和志, 全国 8 都道府県の保健所等と郵送 HIV 抗体検査受検者の特性について, 第 29 回日本エイズ学会学術集会・総会, 東京都, 2015.
- 5) Seiichi Ichikawa, Satoshi Shiono, Noriyo Kaneko, Michiko Takaku, Shinichi Oka, Myagnardirj Dorjgotov, Erdenetuya Gombo, Nyampurev Galsanjams, Davaalkham Jagdasuren: Studies on NGO's HIV Prevention Activities for MSM in Mongolia, 第 29 回日本エイズ学会学術集会・総会, 東京都, 2015.
- 6) Michiko Takaku, Seiichi Ichikawa, Satoshi Shiono, Noriyo Kaneko, Shinichi Oka, Myagnardirj Dorjgotov, Erdenetuya Gombo, Nyampurev Galsanjams, Davaalkham Jagdasuren;” We are living under the same sky “in Mongolia: Adopting Japan original project for HIV prevention “Living Together” 第 29 回日本エイズ学会学術集会・総会, 東京都, 2015.

表 1-1 対象者の属性、性行動

	25歳未満 (N=153)		25歳 - 35歳未満 (N= 378)		35歳以上 (N=338)		合計 (N=869)	カイ二乗検定 有意差	
現在居住地 居住期間									
産まれてからずっと	57	37%	119	31%	74	22%	250	29%	.000
1年未満	23	15%	46	12%	36	11%	105	12%	
1-5年未満	49	32%	90	24%	56	17%	195	22%	
5-10年未満	7	5%	43	11%	47	14%	97	11%	
10-20年未満	10	7%	26	7%	51	15%	87	10%	
20年以上	7	5%	54	14%	74	22%	135	16%	
あなたは以下のどれにあてはまりますか？									
ゲイ	108	71%	316	84%	286	85%	710	82%	.001
バイセクシュアル	39	25%	47	12%	35	10%	121	14%	
ヘテロセクシュアル	1	1%	1	0%	2	1%	4	0%	
分からない	4	3%	6	2%	12	4%	22	3%	
決めたくない	1	1%	7	2%	1	0%	9	1%	
その他	0	0%	1	0%	2	1%	3	0%	
過去6か月間の商業施設利用									
ゲイバー	100	65%	282	75%	243	72%	625	72%	0.165
ゲイナイト	43	28%	198	52%	143	42%	384	44%	0.000
ゲイショップ	35	23%	92	24%	97	29%	224	26%	0.196
PC出会い系サイト	23	15%	65	17%	66	20%	154	18%	0.271
携帯出会い系サイト	38	25%	127	34%	113	33%	278	32%	0.072
mixiなどSNS	24	16%	86	23%	95	28%	205	24%	0.291
エロ系SNS(HuGs や男子寮など)	7	5%	31	8%	33	10%	71	8%	0.580
スマートフォンゲイ向けアプリ (Grindr等)	87	57%	249	66%	193	57%	529	61%	0.553
ゲイ向けサークル	12	8%	41	11%	37	11%	90	10%	0.987
ゲイ向け合コン	3	2%	22	6%	11	3%	36	4%	0.042
ゲイの乱パ	2	1%	20	5%	17	5%	39	4%	0.140
有料のハッテン場	51	33%	136	36%	111	33%	298	34%	0.381
野外のハッテン場	6	4%	30	8%	35	10%	71	8%	0.426
ハッテン場で有名な銭湯・プールなどの施設	21	14%	68	18%	77	23%	166	19%	0.694
いずれもない	17	11%	17	4%	8	2%	42	5%	0.007
過去6か月恋人・彼氏、友達とHIVエイズ対話経験									
ある	89	58%	215	57%	188	56%	492	57%	
ない	64	42%	163	43%	150	44%	377	43%	
生涯 男性とセックス(キスやフェラチオ含)経験									
ある	140	92%	366	97%	329	97%	835	96%	.005
ない	13	8%	12	3%	9	3%	34	4%	
生涯の男性とアナルセックス経験									
ある	122	80%	353	93%	312	92%	787	91%	.000
ない	31	20%	25	7%	26	8%	82	9%	
一番最近にアナルセックス時期									
現在から過去6か月の間	89	73%	256	73%	187	60%	532	68%	.000
過去6か月から過去1年の間	8	7%	42	12%	33	11%	83	11%	
一年以上前	20	16%	44	12%	86	28%	150	19%	
覚えていない	5	4%	11	3%	6	2%	22	3%	
一番最近にアナルセックスした相手									
彼氏や恋人	47	39%	106	30%	92	29%	245	31%	.077
友達やセクフレ	44	36%	133	38%	95	30%	272	35%	
その場限りの相手	29	24%	107	30%	117	38%	253	32%	
その他	2	2%	7	2%	8	3%	17	2%	
一番最近アナルセックスした時コンドーム使用									
使った	81	66%	248	70%	230	74%	559	71%	.054
使わなかった	40	33%	89	25%	76	24%	205	26%	
覚えていない	1	1%	16	5%	6	2%	23	3%	
過去6か月間男性とアナルセックスをしましたか？									
はい	96	79%	278	79%	207	66%	581	74%	.001
いいえ	26	21%	75	21%	105	34%	206	26%	
過去6か月間に全部で何人とアナルセックスをしました									
1人	37	39%	91	33%	76	37%	204	35%	.359
2人	19	20%	51	18%	33	16%	103	18%	
3人	19	20%	40	14%	25	12%	84	14%	
4人	3	3%	14	5%	15	7%	32	6%	
5人	3	3%	14	5%	6	3%	23	4%	
6人以上	15	16%	68	24%	52	25%	135	23%	
過去6か月間のアナルセックスで、コンドームをどのく									
必ず使った	38	40%	123	44%	103	50%	264	45%	.215
使うことが多かった	29	30%	67	24%	47	23%	143	25%	
五分五分	10	10%	39	14%	14	7%	63	11%	
使わないほうが多かった	7	7%	25	9%	20	10%	52	9%	
全く使わなかった	12	13%	24	9%	23	11%	59	10%	

表 1-2 外国籍の MSM との性行動、検査行動

	25歳未満 (N=153)		25歳 - 35歳未満 (N= 378)		35歳以上 (N=338)		合計 (N=869)	カイ二乗検定 有意差		
過去6か月間に、外国の方とアナルセックスをした経験										
ある	18	19%	57	21%	33	16%	108	19%	.442	
ない	78	81%	221	79%	174	84%	473	81%		
外国籍MSMとセックスをした場所 (経験者のみ)										
日本国内	15	83%	44	77%	24	73%	83	77%	.689	
海外	3	17%	13	23%	9	27%	25	23%		
過去6か月間併用品										
ローション	116	76%	324	86%	259	77%	699	80%	0.01	
ぼっき葉(バイアグラなど)	3	2%	25	7%	42	12%	70	8%	0	
ラッシュ	0	0%	18	5%	22	7%	40	5%	0.094	
5MEO_DIPT(ゴメオ、フォクシー)	1	1%	1	0%	0	0%	2	0%		
いずれもなし	35	23%	49	13%	76	22%	160	18%	0.003	
生涯でのHIV抗体検査 (エイズ検査) 受検経験										
ある	76	50%	278	74%	247	73%	601	69%	.000	
ない	77	50%	100	26%	91	27%	268	31%		
一番最近にHIV検査 (エイズ検査) を受検した時期										
過去6か月の間	50	66%	114	41%	84	34%	248	41%	.000	
過去6か月から1年の間	14	18%	52	19%	38	15%	104	17%		
過去1年から3年の間	10	13%	74	27%	54	22%	138	23%		
過去3年以上前	2	3%	38	14%	71	29%	111	18%		
生涯STIでの罹患経験										
梅毒	10	7%	31	8%	49	14%	90	10%	0	
A型肝炎	2	1%	1	0%	6	2%	9	1%	0.725	
B型肝炎	2	1%	21	6%	37	11%	60	7%	0.013	
C型肝炎	1	1%	2	1%	3	1%	6	1%	0.71	
クラミジア	2	1%	27	7%	27	8%	56	6%	0.003	
尖圭コンジローマ	2	1%	27	7%	16	5%	45	5%	0.023	
淋病	1	1%	11	3%	14	4%	26	3%	0.103	
HIV感染症	2	1%	23	6%	26	8%	51	6%	0.005	
赤痢アメーバ	0	0%	0	0%	10	3%	10	1%	0.004	
毛じらみ	10	7%	90	24%	113	33%	213	25%	0	
性器ヘルペス	1	1%	3	1%	9	3%	13	1%	0.002	
その他	0	0%	3	1%	7	2%	10	1%	0.155	
いずれもない	129	84%	235	62%	157	46%	521	60%		

表 1-3 過去 6 か月間と移動と性行動に関する規範

	25歳未満 (N=153)		25歳-35歳未満 (N=378)		35歳以上 (N=338)		合計 (N=869)	カイニ乗検定 有意差		
過去6か月居住地以外訪問地域数（仙台市、東京都、名古屋市、大阪市、岡山市、福岡市、沖縄県）										
いずれもなし	47	31%	99	26%	87	26%	233	27%	.259	
1地域のみ	61	40%	149	39%	113	33%	323	37%		
2地域	30	20%	85	22%	87	26%	202	23%		
3地域以上	15	10%	45	12%	51	15%	111	13%		
規範1 旅行するなら、旅先に住んでいるゲイの人と出会いたい										
そう思う/ややそう思う	113	74%	294	78%	283	84%	690	79%	.025	
あまりそう思わない/全くそう思わない	40	26%	84	22%	55	16%	179	21%		
規範2 旅行するなら、旅先に住んでいるゲイの人とセックスしたい										
そう思う/ややそう思う	11	7%	30	8%	44	13%	85	10%	.036	
あまりそう思わない/全くそう思わない	142	93%	348	92%	294	87%	784	90%		
規範3 旅行するなら、セックスドラッグを持っていくと思う										
そう思う/ややそう思う	80	52%	248	66%	229	68%	557	64%	.003	
あまりそう思わない/全くそう思わない	73	48%	130	34%	109	32%	312	36%		
規範4 旅行するなら、複数のゲイの人とセックスしたい										
そう思う/ややそう思う	31	20%	127	34%	119	35%	277	32%	.003	
あまりそう思わない/全くそう思わない	122	80%	251	66%	219	65%	592	68%		
規範5 旅行に行く前や道中では、旅先にあるゲイ向け商業施設の情報を入手しておきたい										
そう思う/ややそう思う	92	60%	254	67%	261	77%	607	70%	.000	
あまりそう思わない/全くそう思わない	61	40%	124	33%	77	23%	262	30%		
規範6 旅行に行く前や道中で旅先居住のゲイの人と会えるように事前にアプリ掲示板を使って相手を探す										
そう思う/ややそう思う	72	47%	196	52%	181	54%	449	52%	.409	
あまりそう思わない/全くそう思わない	81	53%	182	48%	157	46%	420	48%		
規範7 旅先では、ビジネスホテルや旅館より、有料のハッテン場に泊まりたいと思う										
そう思う/ややそう思う	21	14%	94	25%	44	13%	159	18%	.000	
あまりそう思わない/全くそう思わない	132	86%	284	75%	294	87%	710	82%		
規範8 旅先では、地元でのセックスより刺激的なセックスができる										
そう思う/ややそう思う	76	50%	209	55%	178	53%	463	53%	.481	
あまりそう思わない/全くそう思わない	77	50%	169	45%	160	47%	406	47%		
規範9 旅先では、地元でのセックスより開放的なセックスができる										
そう思う/ややそう思う	58	38%	181	48%	157	46%	396	46%	.103	
あまりそう思わない/全くそう思わない	95	62%	197	52%	181	54%	473	54%		
規範10 旅先では、HIV抗体検査を利用しやすいと思う										
そう思う/ややそう思う	52	34%	115	30%	109	32%	276	32%	.705	
あまりそう思わない/全くそう思わない	101	66%	263	70%	229	68%	593	68%		

表 2-1 東北地域

	25歳未満 (N=13)		25-35歳未満 (N=14)		35歳以上 (N=12)		全体 (N=39)		有意差 カイ二乗検定
過去6カ月間恋人・彼氏、友達とHIVやエイズ対話経験									
ある	6	46%	9	64%	6	50%	21	54%	.608
ない	7	54%	5	36%	6	50%	18	46%	
コミュニティセンタ1 ZEL(宮城県仙台市)									
利用なし	1	8%	0	0%	0	0%	1	3%	.358
利用した	12	92%	14	100%	12	100%	38	97%	
コミュニティペーパー-ZEL 認知									
認知無し	3	23%	5	36%	0	0%	8	21%	.077
認知有り	10	77%	9	64%	12	100%	31	79%	
safersexキャンペーン認知									
ある	4	31%	4	29%	7	58%	15	38%	.234
ない	9	69%	10	71%	5	42%	24	62%	

表 2-2 関東地域

	25歳未満 (N=28)		25-35歳未満 (N=41)		35歳以上 (N=36)		全体 (N=105)		有意差 カイ二乗検定
過去6カ月間恋人・彼氏、友達とHIVやエイズ対話経験									
ある	20	71%	24	59%	24	67%	68	65%	.522
ない	8	29%	17	41%	12	33%	37	35%	
akta(東京都新宿区)利用経験									
利用なし	10	36%	16	39%	7	19%	33	31%	.154
利用した	18	64%	25	61%	29	81%	72	69%	
フリーペーパーakta monthly paper 認知									
認知無し	18	64%	26	63%	17	47%	61	58%	.264
認知有り	10	36%	15	37%	19	53%	44	42%	
safersexキャンペーン認知									
ある	11	39%	16	39%	14	39%	41	39%	.999
ない	17	61%	25	61%	22	61%	64	61%	

表 2-3 東海地域

	25歳未満 (N=31)		25-35歳未満 (N=75)		35歳以上 (N=32)		全体 (N=148)		有意差 カイ二乗検定
過去6カ月間恋人・彼氏、友達とHIVやエイ									
ある	23	56%	44	59%	17	53%	84	57%	.865
ない	18	44%	31	41%	15	47%	64	43%	
rise(愛知県名古屋市)									
利用なし	12	29%	33	44%	8	25%	53	36%	.101
利用した	29	71%	42	56%	24	75%	95	64%	
コミュニティペーパーh.a.n.a. 認知									
認知無し	29	71%	59	79%	18	56%	106	72%	.062
認知有り	12	29%	16	21%	14	44%	42	28%	
「やる!プロジェクト」認知									
ある	8	20%	10	13%	7	22%	25	17%	.486
ない	33	80%	65	87%	25	78%	123	83%	
「やる!プロジェクト」資材受け取り									
過去6か月以内にもらった	2	25%	2	20%	1	14%	5	20%	.234
過去6か月以前にもらった	0	0%	3	30%	0	0%	3	12%	
もらったことはない	6	75%	5	50%	6	86%	17	68%	

表 2-4 関西地域

	25歳未満 (N=24)		25-35歳未満 (N=55)		35歳以上 (N=45)		全体 (N=124)		有意差 カイ二乗検定
過去6カ月間恋人・彼氏、友達とHIVやエイズ対話経験									
ある	13	54%	19	35%	24	53%	56	45%	.105
ない	11	46%	36	65%	21	47%	68	55%	
dista(大阪府大阪市)									
利用なし	13	54%	19	35%	12	27%	44	35%	.074
利用した	11	46%	36	65%	33	73%	80	65%	
季刊誌 南界堂通信 認知									
認知無し	22	92%	42	76%	35	78%	99	80%	.270
認知有り	2	8%	13	24%	10	22%	25	20%	
「やる!プロジェクト」認知									
ある	14	58%	27	49%	15	33%	56	45%	.102
ない	10	42%	28	51%	30	67%	68	55%	
「やる!プロジェクト」資材受け取り									
過去6か月以内にもらった	7	50%	20	74%	6	40%	33	59%	.147
過去6か月以前にもらった	3	21%	3	11%	6	40%	12	21%	
もらったことはない	4	29%	4	15%	3	20%	11	20%	

表 2-5 中四国地域

	25歳未満 (N=32)		25-35歳未満 (N=85)		35歳以上 (N=93)		全体 (N=210)		有意差 カイニ乗検定
過去6カ月間恋人・彼氏、友達とHIVやエイズ対話経験									
ある	16	50%	46	54%	51	55%	113	54%	.891
ない	16	50%	39	46%	42	45%	97	46%	
dista(大阪府大阪市)									
利用なし	26	81%	70	82%	82	88%	178	85%	.467
利用した	6	19%	15	18%	11	12%	32	15%	
ゲイコミュニティペーパーFight!! 認知									
認知無し	23	72%	40	47%	62	67%	125	60%	.009
認知有り	9	28%	45	53%	31	33%	85	40%	
「やる!プロジェクト」認知									
ある	9	28%	40	47%	21	23%	70	33%	.002
ない	23	72%	45	53%	72	77%	140	67%	
「やる!プロジェクト」資料受け取り									
過去6か月以内にもらった	4	44%	29	73%	15	71%	48	69%	.061
過去6か月以前にもらった	0	0%	1	3%	3	14%	4	6%	
もらったことはない	5	56%	10	25%	3	14%	18	26%	

表 2-6 沖縄地域

	25未満 (N=8)		25-35歳未満 (N=32)		35歳以上 (N=33)		全体 (N=73)		有意差 カイニ乗検定
過去6カ月間恋人・彼氏、友達とHIVやエイズ対話経験									
ある	6	75%	18	56%	18	55%	42	58%	.565
ない	2	25%	14	44%	15	45%	31	42%	
mabui(沖縄県那覇市)									
利用なし	2	25%	7	22%	8	24%	17	23%	.968
利用した	6	75%	25	78%	25	76%	56	77%	
コミュニティペーパーZEL 認知									
認知無し	7	88%	31	97%	33	100%	71	97%	.149
認知有り	1	13%	1	3%	0	0%	2	3%	
コミュニティペーパーnankr認知									
認知無し	5	63%	14	44%	12	36%	31	42%	.399
認知有り	3	38%	18	56%	21	64%	42	58%	
さくら通信認知									
認知無し	7	88%	30	94%	33	100%	70	96%	.200
認知有り	1	13%	2	6%	0	0%	3	4%	
「やる!プロジェクト」認知									
ある	3	38%	12	38%	3	9%	18	25%	.020
ない	5	63%	20	63%	30	91%	55	75%	
「やる!プロジェクト」資料受け取り									
過去6か月以内にもらった	2	67%	9	75%	2	67%	13	72%	.933
もらったことはない	1	33%	3	25%	1	33%	5	28%	